

事務事業名		地域包括支援センター職員派遣負担金事業		所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	包括支援G	課長名	小砂 祐子
	施策名	(22)高齢者福祉の充実		担当者名	高橋 雄司	電話番号	0854-40-1043
	目的:対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。		(内線)	2161
	基本事業名	(065)地域ケア体制の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	地域包括支援センター運営事業	
目的:対象	65歳以上の市民	意図	住み慣れた地域で安心して暮らす。		項 目 中事業 中事業名	地域包括支援センター事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
地域包括支援センターを設置運営する上で配置が必要な専門職員(看護師・社会福祉士)の派遣を市内の事業所より受ける。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 本庁2人(社会福祉士2 社協) 大東3人(看護師2 社会福祉士1 社協)	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 本庁2人(社会福祉士2 社協) 大東3人(看護師1 社会福祉士1 主任介護支援専門員1 社協)			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	派遣人数	人	5	5	5	5
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	高齢者	ア	65歳以上の高齢者	人	14,572	14,710	14,714	14,759
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
地域包括支援センターの運営(業務)が円滑に行えるよう体制を整備する	ア	年間相談件数	件	7,982	8,485	8,118	8,300	
	イ	保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員	人	9	10	10	11	
	ウ	介護支援専門員	人	4	5	6	6	

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
負担金 28,951千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
	事業費	地方債	千円				
		その他	千円	29,580	28,238	28,814	29,938
		一般財源	千円	140	135	137	140
		事業費計(A)	千円	29,720	28,373	28,951	30,078
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	116	116	113	
		人件費計(B)	千円	454	460	461	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	30,174	28,833	29,412	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
地域包括支援センターの役割強化が求められており、配置人員の要件厳格化の方針が示されている。	計画的な人材育成を図り、H30年度からは主任介護支援専門員2名体制とした(H29年度までは市職員のみ1名配置)。	地域包括支援センターの外部委託の方向で協議を進める予定。

事務事業名	地域包括支援センター職員派遣負担金事業	所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
-------	---------------------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	専門職の資格要件の厳格化や地域包括支援センターの機能強化が求められる中、職員の資質向上と業務の効率化を図り現体制での業務を継続する一方で、業務委託に向けた協議も進めていく必要がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	現状では職員派遣にて対応するのが最適と思われるが、今後は業務委託に向けた協議を進めていく必要がある。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
			専門職の資格要件の厳格化や地域包括支援センターの機能強化が求められる中、職員の資質向上と業務の効率化を図り現体制での業務を継続する一方で、業務委託に向けた協議も進めていく必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>専門職の資格要件の厳格化や地域包括支援センターの機能強化が求められる中、職員の資質向上と業務の効率化を図り現体制での業務を継続する一方で、業務委託に向けた協議も進めていく必要がある。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		